

令和2年度補正予算 UNESCO-IICBA 案件署名式

2021年2月26日、アディスアベバ市において、当館と UNESCO-IICBA との間で「TICAD 7 と NAPSA の精神にアラインする形での新型コロナウイルス感染下におけるアフリカでの教育を通じた過激主義の発生及び再発予防支援青少年教育を通じたアフリカにおける紛争停止支援」の署名式が開催されました。今回署名された案件は、新型コロナウイルス拡大下において教育を暴力的な過激主義及び再発防止 (PVE) に活用するアフリカ加盟国の努力を支援することを目的に、UNESCO-IICBA に対して約 1 億 1 千万円 (100 万米ドル) を拠出するものです。

本事業を通じて、アフリカでの高等教育・啓発を通じた PVE 削減のための AU 加盟国 10 ヶ国対象の研修、PVE と平和構築に関するアフリカの若者のエンパワメント・制度構築への支援が行われます。

署名式において、伊藤大使は、日本がこれまで積極的平和主義を唱え、平和への取り組みを進めてきた点を強調し、アフリカ連合及び地域経済共同体と共に、TICAD 7 で日本が提唱した「アフリカの平和と安定に向けた新たなアプローチ (NAPSA)」を促進し、アフリカの紛争予防及び仲介に力を入れる旨述べました。また、ベラ・ソングウェ UNECA 事務局長及び横関 UNESCO-IICBA 事務所長より、我が国の支援に対する謝辞が述べられました。



横関 UNESCO-IICBA 事務所長の
スピーチ



伊藤大使のスピーチ



署名文書の交換 (左より、伊藤大使、ソングウェ UNECA 事務局長、横関 UNESCO-IICBA 事務所長)



署名文書交換後 (左より、伊藤大使、ソングウェ UNECA 事務局長、横関 UNESCO-IICBA 事務所長)